

アレムコボンド 631

「アレムコボンド 631」はアメリカのアレムコプロダクツ社が開発した新タイプの高耐熱性エポキシ接着剤で、高真空装置のサイトグラスなどを接着するのにも使用されています。耐熱上限は204℃です。

特性

「アレムコボンド 631」は2液混合型で、優れた機械的、電氣的、熱的特性を有しています。ASTM D1002-94による測定では引張り強度は3000 psi、体積固有抵抗値は 1.2×10^{14} ohms-cm、絶縁力は440 volts/milです。

「アレムコボンド 631」は様々な酸や塩及び有機溶剤に耐性があります。以下のような濃縮液で浸漬テストした結果、影響されないということが判明しています。

塩酸、リン酸、硫酸、塩化ナトリウム、水酸化アンモニウム

水酸化ナトリウム、ジェット燃料、ガソリン、トルエン、など。

他の多くの化学製品についても同様のテスト結果が出ています。

「アレムコボンド 631」はASTM E-595の基準によるアウトガステストに合格しています。このことは物質のアウトガス特性を重視している航空機メーカーにとってはとりわけ有益な要素となります。総質量ロス(TML)は125℃で0.75%、凝縮揮発成分(CVCM)は25℃で0.35%です。

使い方

「アレムコボンド 631」は硬化剤Aとベース樹脂Bを混合重量比1：1の割合で使用します。ヘラなどで十分に練り合わせて、塗布厚0.1～0.2mm程度で塗布します。93℃で2時間焼成するか、常温で24～48時間自然乾燥させるかのどちらかの方法で完全硬化します。

荷姿

50ml入カートリッジタイプ、及び、

1ポイント(約500ml)と1クオート(約1リットル)の広口缶入り。(いずれもベースと硬化剤を合わせた総量です。)



真空装置に使用されるサイトグラスの接着